



発行 東海大学付属大阪仰星高等学校中等部  
東海大学付属大阪仰星高等学校  
発行者 校長 小寺 建仁  
〒573-0018 枚方市桜丘町60-1  
電話 (072)849-7211

第85号



## 節目が多いほど、 丈夫な竹になるもんだ。

高校副校長 塚野直樹

こういう冊子の巻頭言って、多分誰も(特に生徒は)まともにも読まない。僕だってそうだった。これは経験的に正しい。——ということで、低視聴率(視読率?)を前提に書く。誰か一人にでも何かが刺されれば本望である。

「将来の目標を持ち、そこから逆算して今やるべきことを考えなさい。」生徒諸君もよく言われることだろう。将来就きたい職業をまず決めて、そのためにどの大学・学部で何を学ぶかを決め、そこへ進学するために必要な内容を勉強する。つまり自分の人生のクリアな設計図をまず描き、それに沿って無駄なく歩みを進める。これは本当に理想的だろう。だから今の中高校生の段階で、こうした設計図を描ける人は、本当にすごいと思う。たかだか十数年の人生の中で、何かのきっかけをきちんと掴み、自分の方向性を定めることができるのだから。でも、世の中そういう人ばかりではない。目標なんて、持てと言われて、はいそうですかと持てるものではない。僕もそんな一人だった。

高3になっても僕は、自分の進路をはっきり決められずにいた。洋楽にハマっていたこともあり英語だけは好きだったので、なんとなく大学では英語を勉強しようかな、という程度にしか考えていなかった(教員になるなんていう考えは1ミリもなかった)。そんな曖昧な考えだったので、大学選びでさらに迷走し、英文学科に合格した大学へは進まず、なぜか別の大学の経済学部に進学してしまう。自分がありえない選択をしたことに、入学直後に気づくも時すでに遅し。まず授業の内容に興味が持てない。そりゃそうだ。まあそのうちに面白さが分かってくるかもと期待したが、残念ながらその兆しは見えない。そんな中で塾講師のアルバイトを始め、なぜかそれにのめり込んだ。20人程度の中学生クラスを担当し、英語を教えた。教えると言っても我流なので、どう教えたら生徒たちが理解してくれるかと試行錯誤の繰り返しだったが、それが楽しかった。生徒たちとの距離も近く、彼らが学校や家庭で抱えている悩みの相談に乗ったりもした。やればやるほど面白くなり、大学の4年間、ある意味大学の勉強より力を入れた。

さて、そうこうしている間に次の節目、就活の時期がやってくる。ようやく自分が夢中になれることを見つけたので、僕としてはこのまま続けたいとも思ったが、周囲の反対もあ

り断念、一般企業に就職することとなった。というわけで会社員になったものの、そもそも自分は英語を…という気持ちを引きずっており、会社の仕事にこれまた後ろ向き。でも、最初は自分の意に沿わないと思っていた世界だったが、色々と新しい経験をさせてもらう中で、働くことの意味と面白さがちよっぴり分かりかけてきた。何より会社での仕事に心血を注いでいる人たちの想いを目の当たりにし、中途半端な自分が恥ずかしくなった。しかし、同時に人に英語を教える仕事に就きたいという気持ちは依然として自分の中にくすぶっており、このまま今の仕事を続けるか、あるいは転身するか、大いに悩んだ。そして悩み抜いた結果、4年間勤めた会社を辞めた。

それからは英語の勉強と教授法の研究に没頭した。そして、そのうちにあちこちの予備校を掛け持ちして教えるようにもなった。予備校講師は評価が上がれば上がるほど給料も上がり、それが面白くて朝から夜遅くまであちこちの教室を走り回り、寝る暇も惜しんで働く日々が続いた。

そんなある日、100人くらいの大教室で講義をしながら、ふと、我に返る。その日のことは今でもはっきりと覚えている(確か冬期講習で窓からは夕日が差していた)。自分は何をしているんだろう。目の前の相手がどこの誰かなど全く知らず、その不特定多数を相手に一方的にマイクで喋ることで対価を得る。これが自分が本当にしたかったことなのか、と。ここでようやく気付いた。これまでに選択肢にも入っていなかった、というより選択肢から積極的に排除していた「学校の教員」こそ、自分の目指すべき場所なのではないかと。この時すでに28歳。それから2年かけて大学の通信課程で英語の教員免許を取得、教育実習に行ったのは30歳。そして東海大学の教員となったのは32歳だった。

大学を卒業してから今の仕事にたどり着くまで10年。こんな行き当たりばったりの人生を有り体に書くのはとても恥ずかしい。でもこれは僕と同類の人たちへのメッセージだ。人が本当にやりたいことを見つけるまでには個人差があるし、あっていい。目標が持てないことをコンプレックスに感じる必要もない。ただ、いつか本当にやりたいことを見つけたその時に、手を伸ばせば届くだけのチカラをつけておくことをお勧めする。そしてもうひとつ。これからの人生で「コレジャナイ感」を感じる世界に身を置かねばならないことは必ずある。でも、それを人のせいにしてひねくれてはいけない。全力でコミットしてみてほしい。そうすればきっと、思いもしなかった視野が開かれる。

かつて職を転々としながら、本当にこれでいいのかと悩んでいた時に、ある先輩が贈ってくれた言葉を僕は今でも大切にしている。「節目が多いほど、丈夫な竹になるもんだ。」

## 人類が迎える未来 ～我々が身につけなければならない能力を将棋から学ぶ～

皆さんは『2045年問題』と言われるものをご存じですか？AI(人工知能)の性能が2045年に人類の知能を超え、AIが人類に代わって文明の主役になるシンギュラリティ(技術的特異点)がやってくると言われています。今から約20年後に、我々の仕事のほとんどはAIが代替できることになり、現在の高校生は4代になるとそのような時代がやってくる可能性があります。皆さんはそのような時代をどう生きるか、考えたことがあるでしょうか？現在「仕事」として賃金が発生する事務的な作業をすべてAIが代替すると、我々がお金を稼ぐ術はどんどん失われていきます。そうなると当然のことながら社会生活を送ることはできません。どうしましょうか？

ここで少し話題を変え、私の趣味である将棋の話をしたしたいと思います。近年では藤井聡太七冠(2023年7月現在)の活躍で、将棋界のニュースをよく耳にするようになりました。羽生善治九段が将棋のタイトル戦を全冠制覇したのは1996年。その時代は「コンピュータは将棋で人類には勝てない」という意見が主流であり、実際にプロに勝てるような将棋ソフトは存在しませんでした。しかし、それから「たったの」20年後の2017年に、将棋ソフトポナンザ(Ponanza)が公式戦で現役の名人に完勝し、「棋士とAIはどちらが強い」という議論に事実上、終止符が打たれました。つまり、現在では「人類は将棋でコンピュータに勝てない」という意見にすり替わりました。

このことで、将棋の棋士は、日本将棋連盟は、棋士を目指す奨励会(プロ棋士養成機関)で切磋琢磨する子ども達は存在価値を失ったのでしょうか？実際、そのような意見があったことは確かです。しかし、その意見を吹き飛ばすほどの衝撃を与えた天才棋士が登場します。藤井聡太七冠です。プロデビューから負けなしの29連勝の記録を打ち立て、詰将棋の名人として名を馳せ、史上最年少のタイトル保持、名人獲得、七冠獲得…など次々に前人未達の記録を打ち立てています。将棋界はもちろん、マスコミもこぞって彼を取り上げます。人類はすでにコンピュータに勝てないにも拘らず、なぜこれほどまでに人々を魅了するのでしょうか。それは、将棋の価値は「勝つこと」のみではないからです。藤井七冠は将棋を始めた幼い頃から負けず嫌いで、勝つためにどうすればいいかを常に考え、楽しく真摯に将棋と向き合う人間性を持っていました。その人柄に人々は共感し、応援しているのです。また、藤井七冠はAIを将棋の研究に取り入れ、「人間にはできない発想」を学んでいます。そのことで、公式戦では逆に「AIではできない発想」を含んだ手を指します。自分を高めるための手段としてAIを活用し、自分にしか指せない手を研究するその姿勢は、我々がAIと共存する社会を生きるためのヒントになるはずです。

話を戻しましょう。コンピュータの進化の速度を考えると、人類の能力がAIに劣るようになることは明白です。では、人類はAIと共存しながら進化することを目指さなければなりません。そのために求められる能力とは何か？この命題に対する明確な答えは、私自身も持ち合わせてはいません。しかし、考え続けなければなりません。高校生は、次のステップに進むために教科書に書かれていることを覚えます。数学や物理の方程式を解けるようになるために練習します。そのことはとても重要で必要なことです。しかし、それだけでいいのでしょうか？人類にしかできない「創造性」、AIにはできない他者とコミュニケーションを取る「社会性」、そして「人間のみが持つ付加価値」を追求し高めていくことが、これからの社会では求められると思います。

そのために、この夏休みを有意義に過ごしてください。学校生活では勉強や部活動に忙しく過ごしている生徒が多いと思いますが、夏休みに時間を見つけて普段やったことのないことに積極的にチャレンジしてください。図書館に行って普段読まない本を読んだり、山や川に行って自然に触れたり、将棋を指したり…「あなたにしかない付加価値」を探す夏休みにし、さらに大きく成長してもらいたいと願っています。

高校3年生の皆さん、受験を突破するにあたりこの夏休みは非常に重要です。夏期特別講座を最大限に利用して、悔いのない夏休みにしてください。『夏休みを制する者は受験を制す』と言われていています。全校集会で充実した顔つきの皆さんに会えることを楽しみにしています！

## 夏休みの行動にご注意を！

保護者の皆様へ

スマートフォンの普及にともない、生徒達が入手する情報はまさに多種多様となっています。本校においては、2つの側面で保護者の皆様にもご注意いただきたいと考えています。

一つ目は、青少年におけるソーシャルメディア利用の拡大についてです。青少年が影響やリスクを考えることなく、安易な発言や画像・動画の投稿、プライバシーに係わる情報等を発信することにより、ネット上での炎上や犯罪被害につながる問題が多発しています。本校においても生徒指導部や情報管理室からの注意喚起、講演等

による啓発活動など、様々な方法で生徒に安易な使用の危険性を訴えております。ご家庭においても是非スマートフォンの使用に関するルール決めをしていただくようお願い致します。

もう一つは依存度の高さです。ソーシャルメディアやゲームアプリなどの長時間利用により、睡眠不足・体調不良等を誘引する恐れがあります。やはり生徒が使用する情報機器に関しては、使用時間の制限やフィルタリング等も含め、ご家庭におけるルール決めを重ねてお願い致します。

最後に、夏休みは生徒達も気が緩みがちになるかと思われます。興味本位で繁華街等のにぎやかな場所に入入りし、思わぬ事件・事故に巻き込まれてしまい、取り返しのつかないことにもなりかねません。また、そのような場所では違法薬物等が出回り、使用した者による重大な事件の発生も新聞・ニュース等で報じられています。そのようなことにならないよう、言葉巧みに近づき勧められるものに手を染めることのないよう、普段から生徒達の状況を十分に把握していただきたいと思ひます。

生徒達が一人で悩んでいるような場合は一声かけていただき、話を聞いてあげて下さい。お困りの場合は、学校や警察にご相談して下さい。生徒達が有意義な高校生活を過ごせるよう、保護者の皆様と学校で連携し、生徒達をサポートしていきたいと考えています。ご協力よろしくお願い致します。

## 中等部 夏期特別講座授業

### ● 7・8月夏期特別講座

7月21日(金)～27日(木)【土・日除く】、8月21日(月)・22日(火)の7日間、夏期特別講座を実施いたします。全コースとも必修となっており、年間の授業時間数にも含まれます。この講座が、夏期休暇中の継続した学習習慣に繋がることが期待しています。特に中学3年生にとっては、高校進学に向けて大切な時期です。この授業で前期の復習をしっかり行い、後期に繋がるように実力アップに努めて下さい。

### ● 7月25日(火)探究講座開講(旧：自由講座)

7月25日(火)一日限定で、探究講座を開講いたします。昨年度は「自由講座」としてスタートしましたが、高校での「探究」の授業との一貫性を考え、「探究講座」と改称して実施します。高校の「基礎探究」や「発展探究」では、生徒自らが問いや仮説を立て、情報を集めて課題解決を探っていきます。中等部では、教員が多様な問いを立て、解決方法を学問の視点からひも解くモデルを紹介する複数の講座を開講します。生徒たちは、豊富な開講講座から自由に選んで受講します。この機会に、生徒たちが知的好奇心を高め、その後の学習モチベーションの向上に繋がってもらえること、そして「探究」を一足早く経験することによって高校の「探究」の授業で活躍してくれることを期待しています。

## 中等部 研修旅行

### 1年生 三保研修(静岡)・・・6月19日(月)～21日(水) 2泊3日

東海大学湘南校舎、静岡校舎、海洋博物館を訪れ、大学の先生方や卒業生による講演や施設見学など、見聞を広げることができました。また、鉄舟寺など建学の歌の歌詞に含まれる地を訪れ、建学の精神に触れることもできました。

### 2年生 北陸研修・・・6月19日(月)～21日(水) 2泊3日

中等部として初めて北陸研修に行ってきました。SDGs未来都市に選定されている富山市ではまちづくりに関する講演や散策を経験し、後期に実施予定の持続可能な枚方のまちづくりに関するヒントを得ることができました。また、黒部ダムではその圧倒的なスケールを、ラフティングではその自然の雄大さを肌で感じ、一回り成長して帰ってきました。

### 3年生 ハワイ語学研修・・・6月19日(月)～25日(日) 5泊7日

4年ぶりの海外研修となりました。午前中は英語の学習、午後はアクティビティ、夜はフラダンスの練習と充実した毎日を過ごすことができました。ハワイの先生方にSDGsについてインタビューした内容をまとめて、英語でのプレゼンテーションもやり遂げることができました。この機会が、英語学習や国際交流活動への積極的参加に繋がることが期待しています。



**2023年度 星河祭(体育の部：9/28(木) 文化の部：9/30(土)・10/1(日))**

いわゆる、他校で言うところの体育祭・文化祭を本校では「星河祭」と称しています。もともとは学園全体で使われている「建学祭」という名称でしたが、開校4年目に生徒の発案により「星河祭」という呼称が使われるようになりました。以来、私たちは「汝の希望を星につなげ」という建学の四訓の一つと、枚方・交野が古来「天の川伝説」の地であることを見事に掛け合わせたこの素敵な呼称に愛着を覚え、毎年わくわくするようなお祭を開催してきました。

9/28(木)開催予定の体育の部に関しては通常の開催を予定しております。

9/30(土)・10/1(日)開催予定の文化の部については、1日目(9/30)は昨年も引き続きご好評を頂いた「クラブ成果発表会」を生徒のみで開催予定です。2日目(10/1)については、生徒1名につき1家族様ご招待の開催を計画しております。加えて、新たな企画も現在進行中です(6/30現在)。

少しでも生徒達が自ら企画し、自ら楽しみ、自ら成し遂げることが可能となるよう、学校全体で生徒をサポートしていきたいと考えております。保護者の皆様方においては、今年度の開催についての趣旨を何卒ご理解頂き、生徒達の星河祭に対する活動にご声援を頂ければ、と存じます。どうぞよろしくお願い致します。

**研究部からの報告****(1)研修旅行**

本校では例年、高校2年次に実施される研修旅行。「team Gyoseiの学び」に示される力(自主性・行動力、グローバルな視野、課題発見・解決力、多様性を受容できる力)を持つ人物を育てる試みとして、仰星の研修旅行は「生徒自身が目的と行き先を考え、決定する」スタイルへとリニューアルいたしました。40期生(現高2)がその試みの最初の学年として2024年3月、以下4コースの旅に出発します。

- 1 フィンランド (森の自然と環境、「SDGsイノベーション」の実践事例を学ぶ)
- 2 オーストラリア(海や大地の豊かさに触れ、自然の大切さについて考える)
- 3 シンガポール (世界で一番清潔な国で環境や水の問題について学ぶ)
- 4 北海道(道東) (北海道の貴重な自然の魅力を知り、自然の大切さについて考える)

これら4コースはすべて「自主性・グローバルな視野・課題発見・多様性」という観点をベースに、研修旅行委員が中心となって一から考えてきた仰星オリジナルの研修旅行です。「誰一人取り残さない」社会の実現を目指す「SDGs」に関する学びを視野に含め、どこに行って何を学ぶのか、旅のプランの細部にまで、それぞれのコースの研修旅行委員が思いを込めて企画を進めてきました。この旅で得られる様々な経験や知見は、40期生の更なる成長を促すきっかけになることでしょう。

40期生に続き、41期生(現高1)の「旅」作りも、もう既に始まっています。4月に「41期生が関心のあるSDGsのGoal」について考えるクラスワークショップを行い、旅のテーマの元となる「41期生の意見」が集まりました。6/28には(株)JTBの協賛により「旅の目的と行先」案について、学年ガイダンスを実施します。40期のノウハウを受け継ぎ、41期の「旅」作りは更に加速していきます。

「生徒自身が決定する研修旅行」は、仰星の新たな伝統の一つとして今、進化中です。

**(2)卒業生講演会**

本校では生徒達が自分自身の進路について考え、明確な将来像を描くための一助として、各界で活躍する本校の卒業生を講師として、実社会で働く喜びと苦勞、学校生活で磨いておくべき資質等について直接お話しいただく機会を設けています。本年度は2023年9月7日(木)に行います。主に高校1年生が対象となる行事ですが、本年度は中等部3年生も合同参加という形で実施予定です。

参加生徒は事前アンケートで「自分の興味がある職種」を選び、職種ごとの教室に分かれて卒業生講師の方から講話をいただく形となります。普段なかなか聞く機会がないような「仕事についての実際の話」を身近に聞けるチャンスを、ぜひ活用してほしいと思います。なお、本年度予定している職種は以下の通りです。

スポーツ関係(スポーツメーカー・トレーナー・理学療法士)、公務員、警察、消防、  
クリエイティブ系(ゲーム・映像)、航空関係(グランドスタッフ、パイロット)、看護師、  
教職員・教育関係、薬剤師、製造業(メーカー)、運輸交通(電車運転士)、会社経営、建築士、代議士

## 進路行事

## 進路指導部

## (1)2024年度 大学入学共通テスト 説明会 予定

1. 実施日：2023年9月7日(木) 放課後・本校講堂
2. 学 年：高等学校 第3学年
3. 内 容：願書配布、出願等についての説明
4. 大学入学共通テスト受験希望者は、必ず参加のこと。  
注：現役生の出願は、すべて在籍高校からの一括出願となります。

## (2)高校1・2年 進路 到達度テスト 予定

1. 実施日：2023年8月30日(水)
2. 内 容：英(50分)・数(50分)・国(50分)

## (3)高校3年 第1回 ベネッセ・駿台マーク模試 予定

1. 実施日：2023年9月13日(水)
2. 内 容  
国語<200点・100分>  
数学①②<各100点・①70分、②60分>  
英語(筆記)<100点・80分>  
英語(リスニング)<100点・30分>  
地歴・公民<各100点・各60分>  
理科<各100点・各60分>  
3教科3科目～5教科7科目より個人選択受験

## スクールカウンセラーからのメッセージ

新学期が始まって一息つき、もうすぐ夏休みが始まります。皆さん、いかがお過ごしでしょうか。夏休みは、心も体もリフレッシュできると良いですね。

新しい学校生活や部活、友人関係、勉強のことなど、一生懸命頑張ってきたのではないのでしょうか。もしかしたら、何かに疲れて、悩んでいることがある人もいられるかもしれませんね。「一人じゃないよ、一緒に考えよう。」スクールカウンセラーは、皆さんの幸せな学校生活を送るお手伝いできればと考えています。

少し疲れたな、話を聞いてほしいなど、どんな小さなことでも構いません。一人で悩まず、皆さんと一緒に二人三脚で乗り越えていけたらと思います。

スクールカウンセラーは、毎週木曜日と土曜日に来ています。予約は保健室でとることができます。どうぞお気軽にお越しください。

スクールカウンセラー 木曜日 西村 恭子  
土曜日 小川 真理

## 2023年度 入試イベント

本校では、受験生や保護者のみなさまに「仰星」をより詳しく知っていただくために、生徒による学校説明や施設案内のほか、制服ファッションショーなど、趣向を凝らした説明会を開催しています。オープンスクールでは、授業やクラブ活動などを受験生のみなさまに体験していただけます。また、中等部ではプレテストを実施し、入試に向けた力試しにも挑戦できます。

入学試験においては、中・高ともに英検の資格を持っていると、取得級によって優遇措置が適用される制度もあります。本校を希望される受験生やその保護者の方に下記の日程につきまして、お知らせいただければ幸いです。(随時、個別相談・学校見学も受け付けております。ご希望の方は本校生徒募集対策室までご連絡ください。)

中 等 部		高 校	
入試説明会	9月9日(土) 14:00	学校説明会(NEW)	8月26日(土) 14:00
	11月4日(土) 9:30 (第2回プレテストと並行実施)	入試説明会	11月25日(土) 14:00
	11月18日(土) 14:00	英数特進コース 個別説明会	9月20日(水) 18:00
第2回クラブ体験週間	9月11日(月)～18日(月)	オープンスクール	10月21日(土) 14:00
英数特進コース 個別説明会	9月20日(水) 18:00	五ッ木模試連携説明会	12月10日(日) 9:30 (保護者対象：メディアセンター)
第2回オープンスクール	10月21日(土) 9:30		入試直前イブニング 個別相談会
第1回プレテスト	8月26日(土) 10:00		
第2回プレテスト	11月4日(土) 8:50		
Gyosei Meetingフェス ～在校生との座談会～	2024年3月23日(土) 10:00		

\*各入試イベントは、本校HP等を通じて詳細をお伝えする予定です。

\*中等部第1回プレテストは、国語と算数の2科目のみとなります。

中等部第2回プレテストは、A日程入試本番と同様の形式・試験科目で行います。

# 7月~9月行事予定

## 中等部

7月3日(月)	1年水泳実習⑤(5・6限)	8月11日(金)	山の日
7月6日(木)	前期期末試験	8月21日(月)	夏期特別講座(後期・3限×60分)
7月7日(金)	前期期末試験	8月22日(火)	夏期特別講座(後期・3限×60分)
7月8日(土)	自宅学習	8月23日(水)	自宅学習
7月10日(月)	前期期末試験	8月24日(木)	全校集会(1限) LHR(2限)
7月11日(火)	前期期末試験 クラブ健診(午後)	8月25日(金)	50分×4限授業 キャリア教育(2限2年・3限1年・4限3年)
7月12日(水)	自宅学習	8月26日(土)	平常授業開始(40分×4限授業) 中プレテスト①(AM) 高校学校説明会(PM)
7月13日(木)	自宅学習	9月4日(月)	朝礼
7月14日(金)	答案返却 夏休み前クラブ健康相談(午後)	9月7日(木)	夏期課題試験(五ツ木模試) 3年卒業生講演会(6限・高1と合同)
7月15日(土)	自宅学習 中等部オープンスクール(9:30~)	9月9日(土)	40分×4限授業 中入試説明会①(14:00~)
7月17日(月)	海の日	9月18日(月)	敬老の日
7月18日(火)	自宅学習	9月23日(土)	秋分の日
7月19日(水)	自宅学習	9月25日(月)	合唱コンクール学年リハーサル (1限3年・2限2年・3限1年) 全体リハーサル(PM)
7月20日(木)	全校集会・三者面談	9月26日(火)	合唱コンクール(~13:00) 体育の部準備(PM)
7月21日(金)	夏期特別講座(前期・3限×60分) 三者面談(PM)	9月27日(水)	体育の部 リハーサル
7月22日(土)	三者面談	9月28日(木)	星河祭体育の部・後期開始式
7月24日(月)	夏期特別講座(前期・3限×60分) 三者面談(PM)	9月29日(金)	机・椅子移動 文化の部準備
7月25日(火)	夏期特別講座(前期・3限×60分) 三者面談(PM)	9月30日(土)	星河祭 文化の部(1日目)
7月26日(水)	夏期特別講座(前期・3限×60分)		
7月27日(木)	夏期特別講座(前期・3限×60分)		

## 高等学校

7月1日(土)	保護者代表幹事会②(14:00~)	8月17日(木)~22日(火)	夏期特別講座後期(土日実施なし)
7月6日(木)	前期期末試験	8月24日(木)	全校集会(1限) LHR(2限)
7月7日(金)	前期期末試験	8月25日(金)	50分×4限授業
7月8日(土)	自宅学習	8月26日(土)	平常授業開始(40分×4限授業) 中プレテスト①(AM)・高校学校説明会(PM)
7月10日(月)	前期期末試験	8月28日(月)~9月16日(土)	教育実習
7月11日(火)	前期期末試験 クラブ健診(午後)	8月30日(水)	1・2年到達度テスト
7月12日(水)	自宅学習	8月31日(木)	1年読書会(6限講堂)
7月13日(木)	自宅学習	9月2日(土)	保護者代表幹事会③(14:00~)
7月14日(金)	答案返却/探求ノート・面談準備(12:50~) 夏休み前クラブ健康相談(午後)	9月7日(木)	1年卒業生講演会(5・6限講堂) 2年進路LHR(6限各クラス) 3年共通テスト説明会(15:50~講堂)
7月15日(土)	自宅学習 中等部オープンスクール(9:30~)	9月9日(土)	40分×4限授業 中入試説明会①(14:00~)
7月17日(月)	海の日	9月10日(日)	付属生のためのオープンキャンパス(高2対象) 五ツ木模試会場
7月18日(火)	自宅学習	9月13日(水)	3年ベ駿マーク模試
7月19日(水)	自宅学習	9月18日(月)	敬老の日
7月20日(木)	全校集会・三者面談	9月21日(木)	1年探究ポスター発表会(3・4限目体育館)
7月21日(金)	三者面談	9月23日(土)	秋分の日
7月22日(土)	2年追試オリテ(化学基礎) 三者面談	9月26日(火)	50分×4限授業 体育の部準備(PM)
7月24日(月)	三者面談	9月27日(水)	体育の部 リハーサル
7月25日(火)	三者面談	9月28日(木)	星河祭体育の部・後期開始式
7月26日(水)~31日(月)	夏期特別講座前期	9月29日(金)	机・椅子移動 文化の部準備
7月31日(月)	2年追試(化学基礎) 桜丘小学校読書会(メディア)	9月30日(土)	星河祭 文化の部(1日目)
8月6日(日)~8日(火)	学オリススポーツ大会@湘南キャンパス		
8月11日(金)	山の日		

### 編集後記

待ちに待った夏休みがやってきました。今年はコロナ規制も緩和されました。どのように過ごしても今年の夏は人生で一度だけです。勉強、部活動、家庭での生活など、人それぞれ打ち込むものは違いますが、計画を立てて、日々、充実した時間を過ごしましょう。今年の夏も猛暑の予報が出ています。熱中症など体調面にも十分気を付けてください。